

ウルトラファインバブルアダプター ウルプロ Z 工事説明書

施工動画



取付は左記QRから
動画でも確認できます。

重要

**この循環金具には
配管長に制限があります。
必ず以下の配管制限を
守ってご使用ください。**

配管制限 ※機器側の配管制限と比較し、短い方にしてください。

10A樹脂管・10A追焚用ホース	最大10m	10曲がり以内
13A樹脂管	最大25m	10曲がり以内
15A追焚用ホース	最大25m	10曲がり以内
13A三層管	最大10m	10曲がり以内

配管長はできるだけ短くしてください。

重要

循環金具は水が流出しても支障がなく、
吸気配管交換などのメンテナンスができる
ところへ設置してください。

配管接続「行き・戻り」指定あり

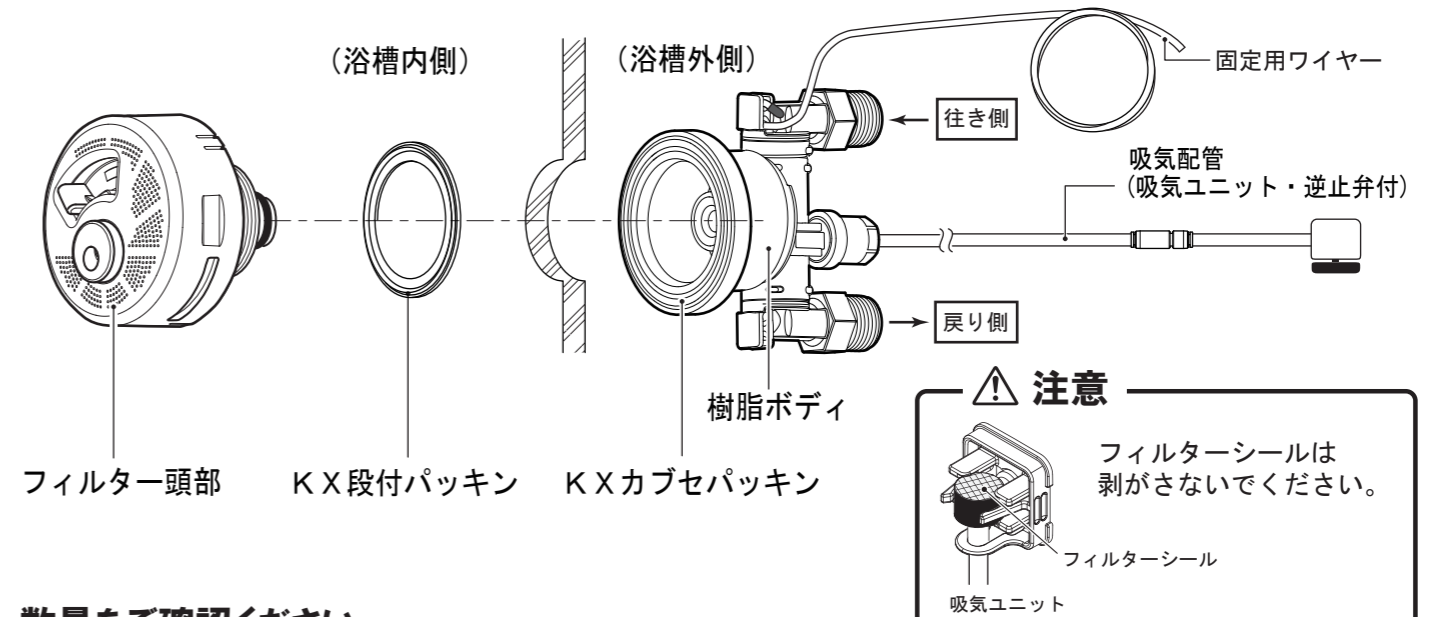
⚠️ 製品取り付け後、必ず動作
確認を行ってください。

⚠️ 注意

- ・この循環金具は浴槽の厚さ15mm以下のものに使用できます。
- ・専用の漏れ検査治具を使用して、追焚配管の漏れ検査を必ず行ってください。
- ・循環金具の突起で手指などにけがをしないように注意してください。
- ・循環金具からは高温水（60～80℃）が出ることがありますので注意してください。
- ・強酸性の洗剤や塩素系のカビ洗浄剤は部品をいためるおそれがありますので使用しないでください。

部品の名称と確認

この製品本体は組み付けられています。
・KX段付パッキンは取付けたままにしておいてください。



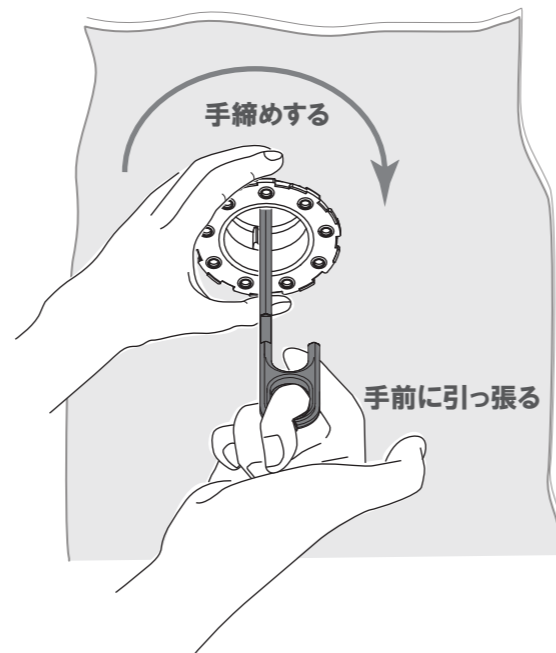
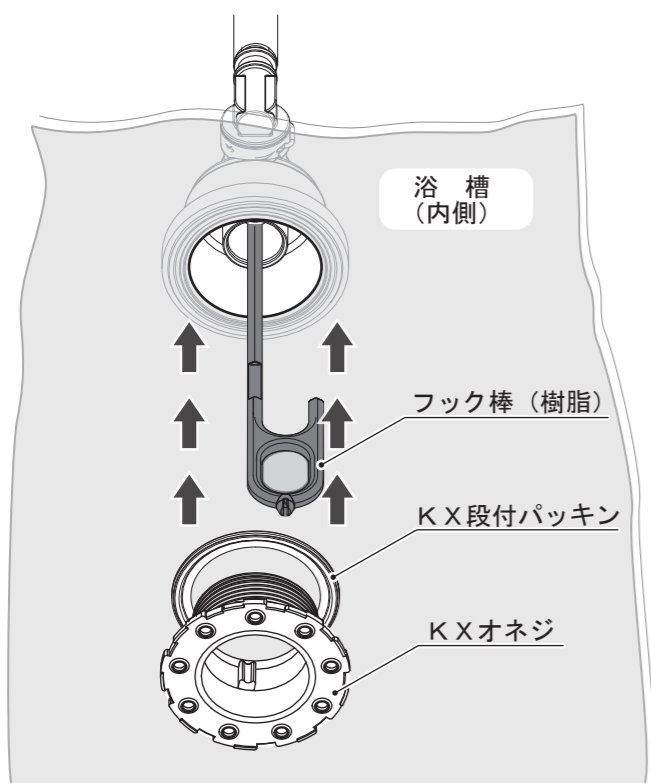
数量をご確認ください。

フック棒（樹脂） 	1	行きシール、戻りシール （各2枚入） 	1
締付工具 	1	注意シール （水貼りタイプのシールです） 	1
工事説明書（本紙） 	1	取扱説明書 	1

必ずお客様にお渡しください。

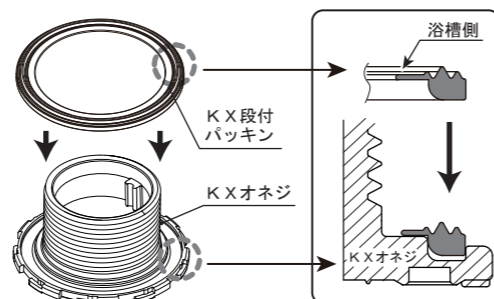
必ずお客様にお渡しください。

- 3 浴槽側からフック棒（樹脂）を引き寄せ、KX段付パッキン、KXオネジを通し、樹脂ボディに手締めします。



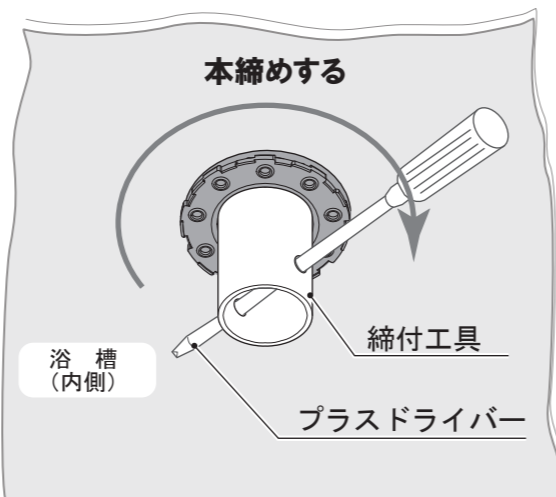
KX段付パッキンの取り付け方

KXオネジからKX段付パッキンが外れてしまった場合は、KX段付パッキンの向きに注意しKXオネジにハメ込んでください。

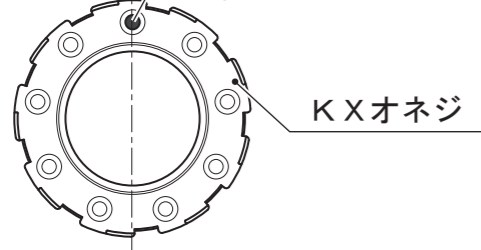


⚠ KX段付パッキンの向きに注意

本締めする



底付き穴が真上にくるように微調整をする。



⚠ 逆回転(左回し)で位置を調整しないこと

⚠ しっかりと締め付けること

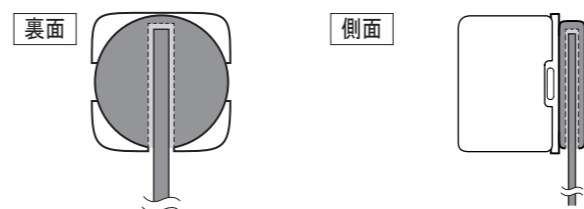
・締め付け不足は漏水の原因となります。

⚠ 必ず底付き穴が真上にあること

・循環金具が真正面を向きません。

吸気ユニットの設置

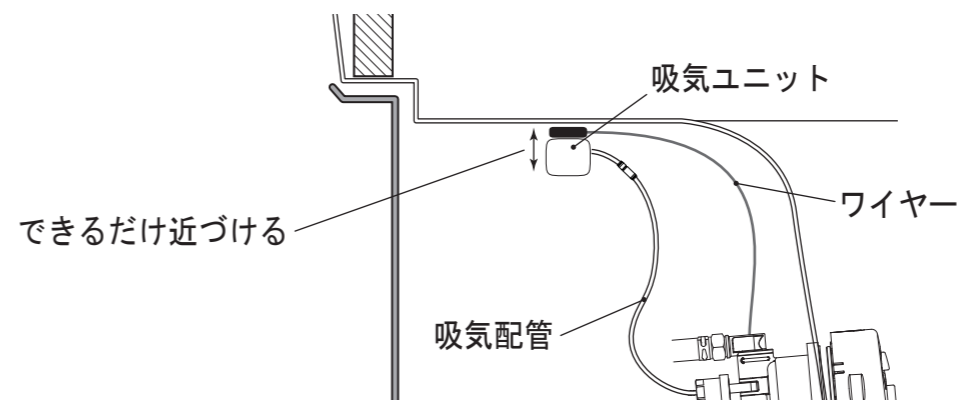
- ①吸気ユニットを取り付ける。
ワイヤーを巻き出し、先端に吸気ユニットを取り付ける。



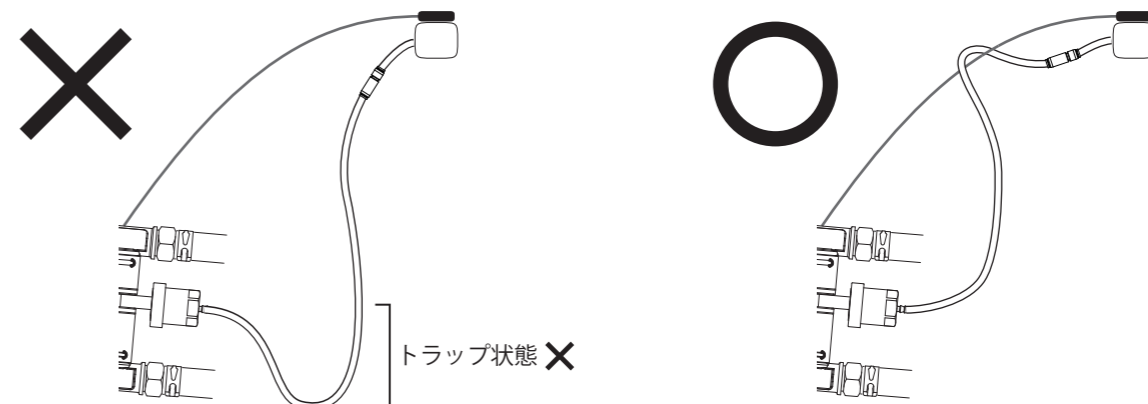
ワイヤー収納部にワイヤーを差し込む。

- ②吸気ユニットの設置
ワイヤーを調整し、浴槽上縁部裏側にできるだけ近い位置に吸気ユニットがくるように設置してください。

⚠ エプロンフタ(カバー)に干渉しないようご注意ください。



※洗い場に近い位置(エプロン側)に吸気ユニットがあるとお手入れの時作業がしやすくなります。



⚠ 吸気配管は樹脂ボディに向けて下り勾配がつくように設置してください。

⚠ 配管がたわむ場合はワイヤーに固定するなどしてトラップにならないようにしてください。

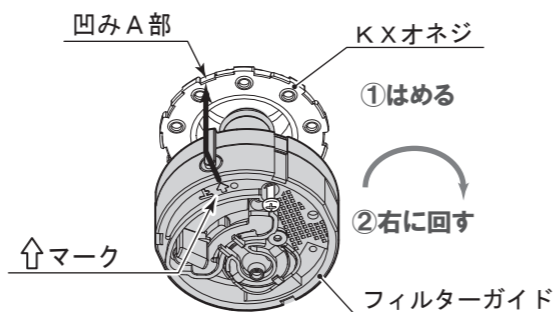
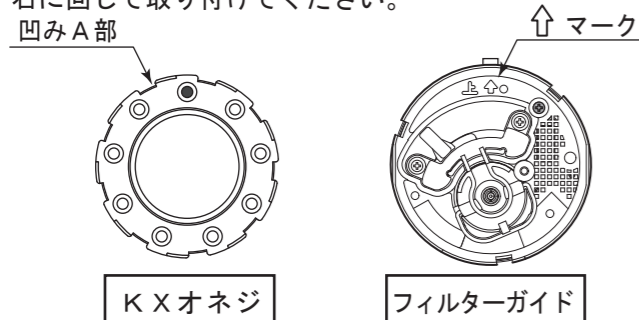
⚠ 吸気配管を引っ張りすぎると管の折れ、継手部の破壊の原因となります。

漏れ検査

- ①専用の漏れ検査治具を使用して、風呂追焚配管の漏れ検査を必ず行なってください。
検査は水圧200kPa(約2.0kgf/cm²) 30分です。
(取付方法・検査方法については漏れ検査治具説明書をご覧ください。)

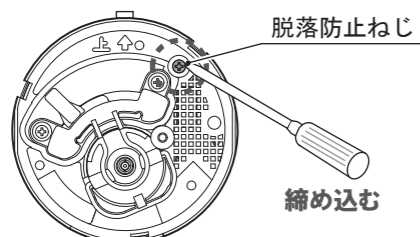
フィルターガイド・フィルターの取り付け

- 1 フィルターガイドを左に傾け前面の ↑ マークを K X オネジの「凹み A 部」に合わせてはめ込み、右に回して取り付けてください。

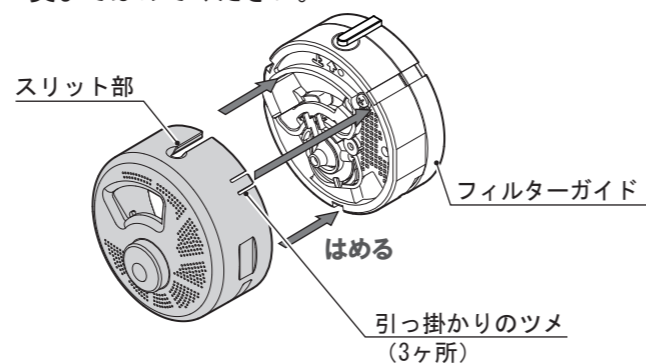


⚠ はめた後、しっかりと右に回すこと
・後で脱落防止ねじが最後まで締められません。

- 2 フィルターガイドの脱落防止ねじを締め付けてください。



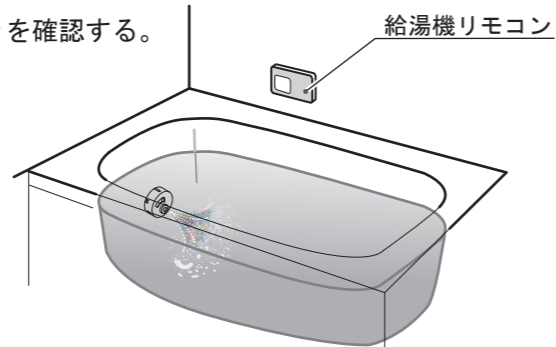
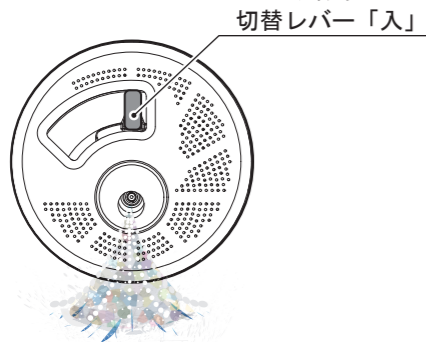
- 3 フィルターのスリット部を上にし、フィルターガイドに奥まではめてください。



動作確認

⚠ 必ず動作確認をすること

- 給湯機の工事説明書に従いふろ試運転を完了する。
- 切替レバーを「入」側に切り替え、給湯機のリモコンにて追焚きを行う。
- フィルター正面のバブル吹出し口より微細な泡が出ていることを確認する。



- 4 試運転、追焚きによるバブル確認後、問題がなければ切替レバーを「切」にしてください。

- 5 注意シールを浴室の壁に貼り付けてください。
※水で貼るタイプのシールです。

